

ISO 21572 : 2013

Foodstuffs – Molecular biomarker analysis – Protein-based methods

食品 – 分子生物指標分析 – タンパク質に基づく方法

1. 規格の概要

遺伝子組換え食品由来のタンパク質を特定のタンパク質に特異的に結合する抗体を用いて検出する方法に係る用語の定義、試料の調製、抗体との反応等の分析手法、結果の判断等が規定されており、附属書には具体的な分析法として、ラテラルフロー法を用いた遺伝子組換え作物由来のタンパク質の検出法等が収録されている。

2. 発行状況等

2004年3月に初版が発行された。

その後、2007年12月に改訂が承認され、2013年2月に第2版が発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

- 1 適用範囲
- 2 引用規格
- 3 用語及び定義
 - 3.1 一般
 - 3.2 抗体に関する用語
 - 3.3 技術に関する用語
 - 3.4 コントロールに関する用語
 - 3.5 妥当性確認に関する用語
- 4 原則
- 5 試薬
- 6 試験室設備
- 7 サンプルリング
- 8 手順
 - 8.1 一般
 - 8.2 サンプル溶液の準備
 - 8.3 抽出
 - 8.4 検量線、正のコントロール及び標準物質の準備
 - 8.5 分析手順
- 9 解釈及び結果を表す式

9.1 一般

9.2 定量的分析及び半定量的分析

9.3 定性的分析

10 結果に影響を及ぼすであろう特異的なパラメーター

10.1 一般

10.2 特殊な要件

10.3 分析の適用性

11 確認方法

12 試験報告

附属書A（参考）ELISAによるタンパク質の検出

附属書B（参考）ラテラルフローデバイスによるタンパク質の検出

参考文献